

## ロシア・ユーラシア研究コース／ヨーロッパ研究コース「演習（ロシア政治・外交）1・2」の概要

担当教員 ロシア語学科・上野 俊彦

### 1. 「演習（ロシア政治・外交）1・2」の目標

演習参加者の一人ひとりが、ロシア社会に関連する特定の研究テーマを自由に設定し、演習担当教員の指導を受けながら、自身で調査・研究を実施し、演習での中間報告・討論を経て、最終的に卒業論文またはレポートを作成します。この作業を通じて、ロシア社会についての理解を深めるとともに、社会事象の研究・調査・分析のための技法を修得し、理論的な文章を作成する能力を養います。

以下に示す 2017 年度演習参加者の個人研究テーマに見られるように、演習参加者が選択する研究テーマはさまざまです。

|                                     |                                                   |
|-------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 2017 年度演習参加者の個人研究テーマ                |                                                   |
| ◆AS「中露国境の変遷－中露国境問題はいかに解決されたか－」      | ◆IA「原油からみるロシア、アメリカ、サウジアラビア II－OPEC 減産合意後の動向を中心に－」 |
| ◆NY「変化する露土関係－2000 年代のプーチン・エルドアン外交－」 | ◆SR「ベラルーシを巡る国際関係－ロシア・EU－」                         |
| ◆TM「ソ連時代と現代ロシアの民族政策」                | ◆TW「チェルノブイリ原発事故の経験から見る福島原発」                       |
| ◆YR「ロシアにおける北朝鮮労働者と人権問題」             |                                                   |

### 2. 「演習（ロシア政治・外交 1・2）」の授業の進め方

授業は、教員が行う(1)講義、ならびに参加者が行う(2)作業および(3)報告の 3 つの部分から構成されます。

#### (1)講義

- ①レポート・論文の書き方
- ②ロシア政治・外交の特定のテーマ

#### (2)作業

英語論文の輪読

#### (3)報告

参加者が選んだ研究テーマに沿って調査・研究を行い、卒業論文・レポートの作成に取り組み、中間報告を実施【スケジュール（予定）】

|          |                 |          |             |
|----------|-----------------|----------|-------------|
| 4 月 12 日 | 自己紹介／講義         | 6 月 7 日  | 輪読／参考文献表の提出 |
| 4 月 19 日 | 講義              | 6 月 14 日 | 輪読          |
| 4 月 26 日 | 輪読              | 6 月 21 日 | 輪読          |
| 5 月 10 日 | 輪読／ゼミ論・卒論の概要の提出 | 6 月 28 日 | ゼミ論・卒論中間報告  |
| 5 月 17 日 | 輪読              | 7 月 5 日  | ゼミ論・卒論中間報告  |
| 5 月 24 日 | 輪読              | 7 月 12 日 | ゼミ論・卒論中間報告  |
| 5 月 31 日 | 輪読              | 7 月 19 日 | ゼミ論・卒論中間報告  |

9 月 22～24 日 ゼミ合宿研修（ゼミ論・卒論中間報告）

### 3. ゼミ合宿

日露関係史跡見学を兼ねて、日露和親条約締結のため来日したプチャーチン以下のロシア使節が半年近く滞在したことから日露友好発祥の地となった静岡県沼津市戸田（へだ）で、2 泊 3 日の合宿研修を実施（2 泊 4 食 14,000 円、交通費は東京から約 6,000 円）し、修善寺ハリストス正教会顕栄聖堂、戸田造船郷土資料博物館、ロシア使節団幹部宿泊先となった宝泉寺などを見学するほか、卒業論文・レポートの中間発表を行います。OGOB にも参加を呼びかけます。